

持続型農業生産技術分野 この1年

持続型農業生産技術分野長 教授 由比 進

「猛暑だ、暖冬だ」が挨拶のようにになっている近年ですが、2019年度は例年以上に気候の変動が激しい1年でした。特に東日本台風(19号)の暴風雨では、秋冬作物にかなりの打撃を受けました。滝沢農場のリンゴにも倒伏や果実が傷つく被害があり、例年行っている贈答品向け販売は中止に追い込まれました。また、台風の影響ではありませんが、高値続きだった子牛価格が下落したこともあって、第二分野の販売収入は減少傾向になってしまいました。

もちろん、悪いことばかりではありません。滝沢農場の恒例行事であるブルーベリー摘み取り会が7月に行われ、数百名の方々が来場しました。これにあわせて、本年は季節を先取りする早どりエダマメの販売も始めました。9月に牧場へ導入された哺乳ロボットは期待を裏切らない働きで、省力化された時間を一層細やかな動物管理と働き方改革につなげようとしています。

外部対応では、牛の繁殖に関わる獣医師等専門家が対象の技術研修を3回実施しました。一般向けでは、恒例の「親子でふれあう牧場体験～赤ちゃんうし誕生観察～」や、「第1回大学農場で学ぶ食と農と生物学(主に高校生対象)」を開催しました。子供から大人まで、フィールドでの体験を通し生きるた

めに欠かせない農畜産業に対する理解を深めてもらいました。参加した若い人の中から、将来岩手大学農学部へ進学する人が出ることを密かに期待しています。変わったところでは、岩手町立石神の丘美術館との共同研究「岩手町ゆかりのキャベツ在来種『南部甘藍』を活用した菜の花栽培技術の開発」が開始され、今後の展開が楽しみです。

人の動きでは、11月に平田統一助教が准教授に昇格しました。これまでの経験を活かし、研究や社会貢献にますます活躍されることでしょう。また、この3月で牧場の千田広幸さんと小野寺昭好さんは定年、さらに再任用で農場に勤務されていた佐々木勝則さんは退職されます。長年の功績に感謝しつつ、御三方のご健勝とご発展を祈念しております。



第1回大学農場で学ぶ食と農と生物学



岩手の在来キャベツ品種「南部甘藍」
(石神の丘美術館にて、2019.12)

演習林 (循環型森林管理技術分野) この一年

循環型森林管理技術分野長 教授 山本信次

演習林では岩手県において蔓延しつつある松くい虫病、ナラ枯れ病に対応するため、通常の森林保育からもたらされる素材量を上回る生産となり、結果として3,065㎡の木材を販売しました。

こうして生産されたアカマツの一部は名古屋城再建のための優良材として出荷されています。演習林の一部はこうした文化財補修・復元のための「ふるさと文化財の森」に指定されており、今後ともこうした社会貢献を継続する予定です。

また演習林は文部科学省から「教育関係共同利用拠点」として認定を受けており、今年度は他大学向けの単位認定に係る授業科目は11科目、利用大学数は13校となっており、3月実施予定分を含めての利用学生延人数は521名となっており、このうち森林科学系以外が343名と半分を超えるまでになっています。

さらに、本事業のプログラムにはオーダーメイド型と一般公募型がありますが、今年度の利用大学は、前者において鹿児島大学、富士大学、岩手県立大学、日本女子大学、秋田県立大学、法政大学、後者において日本大学、岩手県立大学、京都大学、山形大学、新潟大学、北里大学、宇都宮大学、東海大学と、利用大学の幅も広がってきています。

このように実績を残してきた共同利用拠点事業を今後とも継続していくためにも、来年度からもさらに内容の充実や拡大に向けて取り組みます。



アウトドア用車いす HIPPOcampe 導入

循環型森林管理技術分野 特任助教 高田乃倫予

当センターは学内や他大学の実習、一般市民向けの公開講座の場として多く利用されています。しかし、身体の不自由な学生や一般市民は当センターの利用を控える傾向にありました。そこで、この度、アウトドア用車いすHIPPOcampeを導入しました。HIPPOcampeはフランス製で自走、介助の双方で使用でき、水陸両用で山道や砂利道、雪道、砂浜などで使用が可能な車いすです。さらに使用者の負担を軽減する構造で、耐久性にも優れているため、その性能は世界で評価され導入されています。岩手県での導入は初めてとなります。

日本では、ata Allianceと信州大学が設立したインクルーシブ野外教育研究所がHIPPOcampeの講習会の開催、ライセ

ンスの発行・管理などを行っており、当センターでも使用にあたり必要なライセンスを取得するため講習会が開催されました。当センターの教職員10名がライセンスを取得し、講習会の模様は多くの報道機関に取り上げられました。今後、より多くの学生や一般市民にフィールドでの学びを提供していきたいと思えます。



令和元年度 エクステンション活動一覧

職業的専門家
(経営者・技術者等)を
対象とするもの

1) 牛の臨床繁殖検査等に関する技術研修	R1.6/3(月)~28(金)
2) 岩手ブルーベリーの会 令和元年度 夏期講習会	R1.6/16(日)
3) ブルーベリー栽培講習会	R1.6/25(火)
4) 森林施業基礎講習会 (岩手県森林組合連合会初任者研修)	R1.7/8(月)
5) 第83回 フォレストテクニカルエクステンションー地域林業支援プログラム(10)	R1.8/26(月)~9/6(金)
6) いわてアグリフロンティアスクール「農業技術先進地研修2」	R1.9/18(水)
7) 牛の生体内卵子回収、体外胚生産技術に関する技術研修 (基礎編)	R1.10/15(火)~16(水)〈1泊2日〉
8) 第81回 フォレストテクニカルエクステンションー岩大型作業路普及プログラム(42)	R1.11/5(火)~6(水)
9) 第82回 フォレストテクニカルエクステンションー岩大型作業路普及プログラム(43)	R1.11/11(月)~12(火)
10) 牛の生体内卵子回収、体外胚生産技術に関する技術研修 (応用編)	R1.12/9(月)~20(金)〈11泊12日〉
11) 広葉樹施業に関する研修会	R2.1/21(火)

一般市民・児童生徒を
対象とするもの

1) 公開講座 第155回 フィールドセミナー 植物観察シリーズ(28)	R1.6/2(日)
2) 第156回 フィールドセミナー (総合的学習時間における森林学習(40))	R1.7/1(月)
3) 第157回 フィールドセミナー (総合的学習時間における森林学習(41) ー技術職員と学ぶ森林作業ー)	R1.7/2(火)
4) 公開講座 第1回 大学農場で体験する食と農と生物学	R1.8/1(木)
5) 第14回 哲学者 内山 節氏を迎えての「哲学の森」	R1.8/17(土)~18(日)
6) 公開講座 第158回フィールドセミナー 植物観察シリーズ(29)	R1.10/6(日)
7) 東北学院中学一年生、引率教員野外学習	R1.10/17(木)
8) 公開講座 第159回フィールドセミナー 親子シリーズ(27)	R1.11/10(日)
9) 公開講座「親子でふれあう牧場体験~赤ちゃんうし誕生観察~」	R1.11/16(土)~17(日)
10) 公開講座「かんじきを履いて冬の森を歩こう」	R2.2/16(日)

センター開放的事業

1) 花苗販売会	R1.4/4(木)
2) ブルーベリーとエダマメ摘み取り販売会	R1.7/17(水)
3) ブルーベリーとエダマメ摘み取り販売会	R1.7/24(水)
4) ブルーベリーとエダマメ摘み取り販売会	R1.7/31(水)
5) エダマメ摘み取り販売会	R1.9/12(木)
6) 第21回森の駅市場	R1.8/7(水)
7) 第22回森の駅市場	R1.11/29(金)
8) リンゴ即売会	R1.12/11(水)
9) リンゴ即売会	R2.1/15(水)

